



つくしんぼだより 10月号



平成30年9月25日
石原かがやきこども園
体調不良児保育担当
鈴木・青木

夏の暑さもおさまり、秋の気配を感じるようになりましたね。これからは外遊びに適した時期になり、子ども達の食欲も増加します。夏に減った体重を戻すには、やはりもりもり食べることがいちばんです。子どもは3食しっかり食べて、十分なカロリーを摂取することが大切です。朝は忙しくて・・・という方が多いかもしれませんが、子どもの食習慣をつけることは大人の大切な役割です。乳幼児期からの毎日の働きかけが、食生活の習慣をつけるためのポイントですので、食事はきちんととるようにしていきましょう。



《エプロンシアター》



《ブルーライトで手をかざす》

手洗いチェッカー体験(年長対象)

9月4日に高崎市保育課主催(初めて)の手洗い体験とエプロンシアターがありました。お遊戯室に未満児から年長児まで大勢のこども達でエプロンシアターを楽しみました。手洗いソングをかけながら、楽しく手洗いの順番を教わりました。爪や指の付け根、手首なども忘れずに洗いましょう。

手洗いチェッカー体験では、年長児を対象に手に蛍光剤を塗り石鹸で手を洗った後、部屋を暗くしてブルーライトに手をかざしました。荒い残しの部分が蛍光剤で光り、初めての体験に子ども達は真剣に見入っていました。これから感染症が流行る時期になります。手洗いチェッカーで見た洗い残しの部分もしっかり洗ってきれいな手で過ごしたいですね。



健康診断

10月2日(火)内科健診があります。
休まないようにお願いいたします。

もうすぐ運動会！

運動会が近づき、毎日元気いっぱいの子どもたち。知らず知らずのうちに、疲れがたまってきていますので休日はゆっくり体を休めましょう。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、うがい・手洗いのほか、よく食べ、よく眠り、元気な体でいられるよう、心がけましょう。



9月の防災週間に合わせて園に備蓄しているアルファ米をいざというときに職員が使えるように、作り方の説明を受けました。台風や地震など災害が続いておきています。いざというときの備えや使い方を知っておくことの大切さを痛感しました。

目の愛護デー

10月10日は目の愛護デーです。人は生後2か月頃から物を注視するようになり、6歳くらいでいたい大人と同じ視力になるといわれています。小さな子どもは目の病気にかかったり、視力に異常が生じたりしても、ほとんどの場合、自分から症状を訴えることはありませんので、大人が注意しておく必要があります。目を細めてるとか、横目で見るとか、いつもと違うと感じたら、早めに病院で診てもらおうようにしてください。

